

ひ ょ う ご の

福祉活動組合員基金

(通称100円基金) 始動!

必読



たくさんのご応募ありがとうございました

住んでいる街を住みたい街へ「夢ヲかたちに！」

安心な商品をつくってきたように、組合員による参加型地域福祉に取り組んでいきます。今の自分には必要ないと思っていても、いつ何があるかはわかりません。阪神淡路大震災もコロナの感染拡大も、ある日突然襲ってきました。大災害が今ひょうごに起こらなくても、現在の自分には何の支援も必要ないとしても、いつ、何が、必要になるのか誰にもわからないのです。

だからこそ、誰もが安心して暮らせる「ひょうご」になるために、グリーンコープの組合員みんなでできることを、一緒に考えていきませんか？

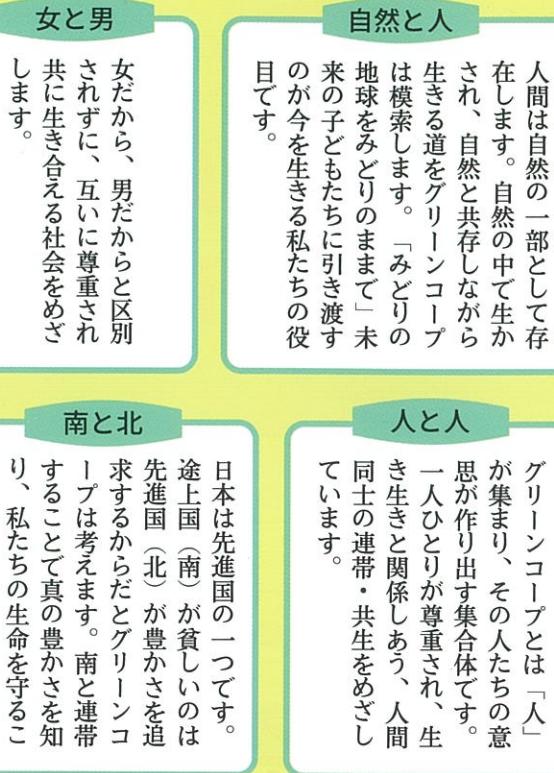
グリーンコープ生活協同組合ひょうご

四つの共生がグリーンコープの理念です

生協とは「組合員の生活の文化的・経済的向上をはかる」（生協法）ことを目的に作られた消費者の組織です。1988年3月、九州・山口の25のせっけん派生協が集まり、グリーンコープ連合を結成し、その宣言文の中に「自然と人」「人と人」「女と男」「南北」と北の「四つの共生」がうたわれ、グリーンコープ運動の一つの到達点として、福祉の取り組みがあります。

「四つの共生」と「夢ヲかたちに」

「共生」はお互いの違いを認め共に生きることです。それぞれの組合員の夢を持ち寄り検討し「夢ヲかたちに」という中期計画基本構想ができました。その中で「地域福祉」「環境・農業」「教育・文化」に取り組んでいくことを確認し、グリーンコープの地域福祉はスタートしました。



グリーンコープの福祉の考え方

- すべての組合員にとって利益が享受できること
- ハンディの重い人が最も大切にされること
- 地域に開かれたものになっていくこと

福祉活動組合員基金（100円基金）とは

1996年にグリーンコープ生協ふくおかで初めて設立されました。国の介護保険制度が始まる4年も前です。その後、2000年に介護保険制度が始まるとグリーンコープも参入しました。2020年3月には10県のグリーンコープで設置されています。

さまざまな公害などに不安を持ち、安全・安心な食べ物を求める人たちがグリーンコープを発足させました。

環境・平和・農業を始めとしたグリーンコープ運動が広がる中、社会的に少子高齢化が進み不安の内容が変化してきました。

1992年、私たち組合員の代表が集まって「組合員の未来のためにグリーンコープは何を目指すのか」語り合いました。

どうして？生協が福祉をするの？

グリーンコープの福祉の財源は「広くうすく支えあう」ために組合員が毎月100円を拠出する「福祉活動組合員基金」と、グリーンコープの納入取引先の皆さんのご協力による「事業基金」で賄われています。（コープ共済事業を行う他県のグリーンコープではその収益の一部も福祉の財源となっています。）

1993年に中期計画基本構想「夢ヲかたちに」を採択し、今と将来を支えあう助け合いの仕組みを作ることにしました。

グリーンコープの福祉の財源

参加型地域福祉の実現を目指します

同じ地域に住む人たちが、お互いにできること（労力・知恵・お金）を出し合い、助け合って地域福祉に参加することが参加型地域福祉です。100円基金はこの趣旨により、組合員全員の参加を目指しています。一人ひとりの負担は軽く、たくさんの人で継続的に支え合うことが大切だと考えています。自分に必要ないと無関心でいるのではなく、参加して関心を持つことが福祉活動の始まりだと考えています。



夢ヲかたちに！理事会 in ひょうご

グリーンコープでは1993年に採択された中期計画基本構想「夢ヲかたちに」をグリーンコープ30周年の2018年に振り返り見直し、2019年に「第2次夢ヲかたちに」を策定しました。福祉活動組合員基金連合会も始まり、食べ物運動を貫きつつ食べ物運動を超えて、よりよい地域づくりに目を向けようと、オールグリーンコープ（16府県のグリーンコープ）で「夢ヲかたちに！理事会」が始動しています。ひょうごでも組合員やワーカーズが夢をかたり合いながら、ひょうごがどんな地域になってほしいか、マスター・プランの検討を進めています。



グリーンコープ生協ひょうごのこれまでの取り組みの経過

グリーンコープ生協ひょうごは設立17年を迎えました。設立以来赤字続きで地域福祉の活動は考えられない状況でした。（社会福祉法人グリーンコープ家計相談室は8年前から神戸市、2022年4月からは芦屋市より事業受託中）2020年春からのコロナ禍により、生活に困窮する方が増えたことを知り、グリーンコープの食糧支援や地域福祉を伝え、「いのちをつなぐための基金 in ひょうご」に取り組み、ひょうごの地域福祉の可能性を考えるようになり、2020年度の黒字化で、私たちにも「福祉の活動」を語る機会ができました。

現在は「子育てサークル」やみんなが集まる「居場所」の「ぐりーんCafe」、学校に行きにくい子のママのおしゃべりサロン「ひだまり」、なんでもおはなしできる「お話しませんか」、絵本を読み聞かせながら交流する「おはなし会」等が始まっています。

2021年4月に組合員福祉アンケートを行い、「様々な福祉の必要性」や「福祉で活躍したい組合員のパワー」を感じました。そして、2021年6月に開催された第17期通常総代会で議案「ひょうご基金」がグリーンコープ生協ひょうごにも必要と検討し、福祉準備会通信等で組合員の皆さんに基金について伝えてきました。そして本年6月の第18期通常総代会で、福祉活動組合員基金の設置ならびに基金運用委員会の設置等について提案し、可決承認されました。

そのように始まっている福祉の活動を継続し、ひょうごの活動エリアに利用出来る場所を広げるためには資金が必要です。そこで、グリーンコープ各県で設置されている福祉活動組合員基金（100円基金）がグリーンコープ生協ひょうごにも必要と検討し、福祉準備会通信等で組合員の皆さんに基金について伝えてきました。そして本年6月の第18期通常総代会で、福祉活動組合員基金の設置ならびに基金運用委員会の設置等について提案し、可決承認されました。



グリーンコープ生協ひょうごの福祉活動組合員基金

現在グリーンコープ生協ひょうごでは「事業基金」を使って福祉活動を始めています

事業基金とは取引先の値引き1%の半額0・5%を「地域福祉」に活用するとした基金です。自己資金のない単

協に、福祉の活動を始めるために助成してもらえる基金です。グリーンコープが連帯でているから受けることができる支援です。この基金を使って、子育てサークル、交流の居場所、支援の居場所等に取り組んでいます。

しかし、事業基金は助成されて使われる基金です。限度額や生協の活動の範囲と運用に制約があり、福祉活動を広げることには限りがあります。福祉活動組合員基金が設置出来たら、ひょうごの自己資金となり、様々に公募される助成金にも自ら申請出来るし、社会福祉法人が設立出来、事業として様々な福祉につなげられます。

現在行っている福祉活動を継続し他地域へ広げ、マスターープランに沿った地域づくりをするために、組合員一人ひとりが毎月100円ずつ出し合うゲ

リーンコープの福祉活動組合員基金がひょうごにも必要です。

皆様から預かった大切な基金は、生協の会計とは区別し、基金運用委員会(※1)が管理・運用していきます。マスターープランに沿った地域づくりの為に、組合員が検討した福祉活動を理事会からも基金運用委員会に助成申請します。

また、ひょうごの活動エリアでは様々な地域福祉の活動がすでに行われています。組合員が関わる地域福祉の活動に対して助成申請を公募予定です。(地域福祉の活動に関しては全体でその年の助成金額の10%までの範囲となります。)(※2)

※2 詳細については「福祉活動組合員基金運用委員会 細則」で定めています。

※1 基金運用委員会は各地域から選出された組合員等で構成されます。組合員から出された申請内容をきちんと検討して、どれだけの金額を助成するかを決定する機関です。報告会を開催したり広報誌などで、組合員の皆さんに助成状況を報告します。不公平がないように各地域から選出します。



福祉活動組合員基金なんでもQ&A

Q 100円基金は何に使うの？

A グリーンコープ生協ひょうごの活動エリア全体の福祉活動に使われます。地域の福祉活動への助成や、福祉ワーカーズの育成や運営の助成に使われます。また、子育て応援の取り組み等それぞれの地域で必要とされる福祉への使い方を検討します。
(将来的には 福祉施設の建設資金にも)

Q 100円は出し続けるの？返してもらえるの？

A 出資金ではありませんので返金はありません。（一回も購入が無い月や脱退後の引き落としはありません）継続的な100円の拠出が安定した地域福祉の基盤となりますので、ご協力よろしくお願いします。

Q お金の使い道は誰がどうやって決めるの？

A 皆様から預かった大切なお金は、生協の会計とは区別し、基金運用委員会が管理・運用していきます。基金運用委員会は地域差がないように各地域から選出された組合員等で構成されます。組合員から出された申請内容を精査して、どれだけの金額を助成するかを決定する機関となります。報告会を開催したり広報誌などで、組合員の皆さんに助成状況を報告します。

Q 自分には必要性を感じないんだけど？

A 現在困ったことに直面していない方にとって、必要性や意義は実感できないかもしれません。しかし、これからの中社会は「共助」の仕組みを広げていかないと、次の世代の担い手である子どもたちに、経済的にも労力的にもつらい社会を残すことになります。そのため、福祉活動組合員基金は、「全員参加」を呼びかけています。全員で参加する意義は、「皆で少しづつ出し合うこと」「お互いが対等に支え合うこと」「たくさんの人の参加でやれる力を生み出すこと」になります。また、このことにより、「互いに支え合う」という関係を広げていきたいと考えています。私たちはいつ何が起こるかわからない時代に生きています。「共に助け合う仕組み」を創るために財源として、福祉活動組合員基金（100円基金）へのご理解とご協力をお願い致します。

Q 生協はたべものだけではないの？

A グリーンコープは「いのちとくらし」を原点とした商品の開発、減無農薬の推進、環境問題など、様々な分野で“グリーンコープ運動”をつくりあげてきました。食べものから出発して、福祉活動が加わったことで、「誰もが安心して暮らしていける社会づくり」に近づいています。

Q 転勤族です！グリーンコープのない地域に住んだら利用できないの？

A グリーンコープのめざす参加型地域福祉は、住んでいる街を住みやすく、またその地域にとどまらず広く福祉を変えていく力になることです。まずは、今住んでいる街を住みやすくしていくことから考えます。自分が拠出した100円はその活動の一部かもしれないけれど、様々な場面で活用され誰かの役に立っている…そんな助け合いの参加型地域福祉を目指しています。

Q 参加型地域福祉って？

A 同じ地域に住む人たちが、お互いにできること（労力・知恵・時間・お金）を出し合い、助け合って地域の福祉に参加していくことです。このような趣旨から、組合員全員の参加をめざしています。一人ひとりの負担は軽く、たくさんの人で支え合うことが大切だと考えています。無関心でいるのではなく、参加して関心を持つことが始まりだと思います。

しかし、どうしても「同意できない人」から強制的に集めることはできません。趣旨を理解して同意した方から拠出をしていただきます。



100円基金を活用するビジョン

マスターープランに沿って、担いたい人がいて
出来る事から始めます

暮らしをサポート

- 組合員へ訪問サービス
- ・家事サービス 在宅介護支援
- ライフプランニング活動推進
- ・高校生や大人向けのお金の使い方講座
- ・家計簿クラブ／お小遣ゲーム 等

子育て応援

- 子育て応援の取り組みを各地域で開催
- ・会場での託児 子育て講座
- ・産前産後のお母さんへの寄り添い
- ・母親のレスバイト（息抜き）
- ・みんなの居場所 子ども料理教室 等

各地域にワーカーズを

- 福祉系ワーカーズの立ち上げや育成
- ・子育てサポートワーカーズ
- ・家事サポートワーカーズ
- ・在宅支援ワーカーズ
- ・配食ワーカーズ 等

そして将来（10年後？）

「社会福祉法人 グリーンコープ

となって、グリーンコープのデイサービスセンターや配食センター、子どもの一時預かり、障がい者の職業訓練等出来る複合的な福祉施設の設置を目指します。

社会福祉法人グリーンコープ

グリーンコープ生協とワーカーズが母体となってつくられた社会福祉法人で、広島から鹿児島までの9県で、高齢者の福祉・障がい者の福祉、子どもの福祉・生活困窮者の福祉に取り組んでいます。

○動画で見る社会福祉法人グリーンコープ
紹介 「共に生きる」 2019



100円基金でひょうごの福祉は広がります

他県のグリーンコープの福祉事業はたくさんの福祉ワーカーズが赤ちゃんから高齢者、障がいのある方の様々なご要望に沿えるように日々頑張っています。



ワーカーズとは？

ワーカーズとはボランティアでも、誰かに雇われるのではなく、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を事業化し、自分たちで出資・経営・労働を担う共同体（働き方）です。

組合員が持っている技術や経験（例えば家事や子育て）を活かして働きながら知らなかつた自分を発見したり、自分自身を豊かにしていくことができます。そして関わる人も豊かにしていく働き方です。

グリーンコープは組合員の力を活かし、より良い地域づくりを目指して生き生き働いているワーカーズがたくさんできるよう人にづくり、仕組みづくりを応援したいと考えています。

他県のグリーンコープでは、「生きがいが欲しい」「人の役に立つことがしたい」「一緒に子育てのことを考えたい」「家事能力を生かしたい」

等、様々な想いをもつた4,700人以上がワーカーズとして活躍しています。

★グリーンコープ生活協同組合ひょうごでは、現在2つのワーカーズが設立され、日々の事業を展開しています。

- ・ワーカーズ・コレクティブひょうご（配送）
(組合員事務局・託児・キープ・広報・総務・物流)

※今後、ひょうごでの福祉の事業は、ワーカーズを設立し進めようと考えています。

子どもの居場所

配食サービス

障がい者支援

就労支援

生活困窮者支援

小規模多機能ホーム／サービス付き高齢者住宅等

100円基金の拠出と基金運用委員会

組合員みんなの想いを毎月100円の拠出で積み上げます

100円基金の拠出に同意／不同意の意思確認書を提出

※組合員全員より必ず提出して頂きます。

2022年10月より拠出開始

※申込手続き完了次第、拠出開始

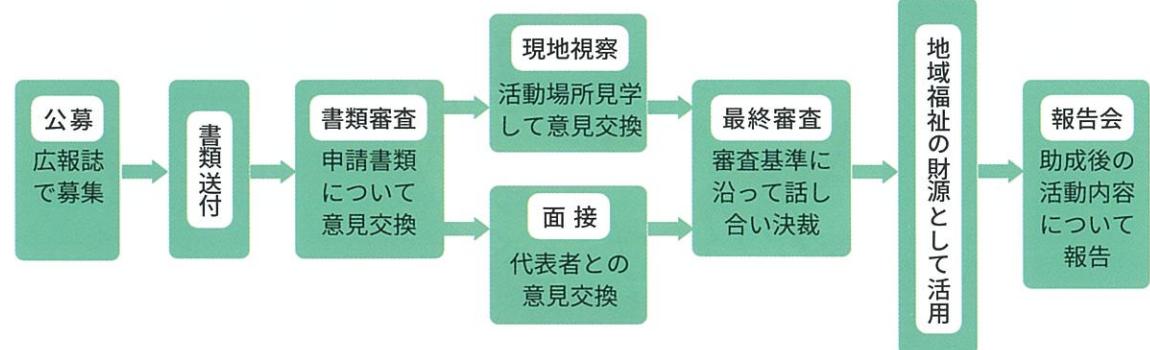
『基金運用委員会』を設置

100円基金の運用開始

『基金運用委員会』とは、生協の会計とは区別し、管理・運用していくための委員会です。地域に根ざした基金の管理・運用の検討を理事会より委譲します。また、委員は基金を拠出している組合員（各地域より選出）や理事会からの代表等総代会で選出します。

100円基金の運用の流れについては、下記図1の通りです。決定された基金の運用については、広報誌や報告会などで組合員の皆さんに報告されます。

図1. 100円基金の運用の流れ



福祉活動組合員基金（100円基金）にご協力ください

各県グリーンコープの福祉事業の源となっているのは、福祉活動組合員基金（100円基金）です。グリーンコープは生協の意義・目的である「生命を大切にする」ことを貫き、その為にみんなが協同し助け合っています。だからこそ、自助でも公助でもない、「共助」の福祉を目指し、グリーンコープ生協ひょうごの参加型地域福祉を組合員全員で支え進め、地域に暮らす人が等しく幸せであることに関心を寄せていくことを継続的に行っていきたいと思いますので、ご協力お願いします。

誰も取り残さない、私もあなたも取り残されない地域福祉を目指しましょう。



グリーンコープ生活協同組合ひょうご

〒664-0845

兵庫県伊丹市東有岡3丁目73-1

☎072-777-7630

□ <http://greencoop-hyogo.or.jp/>

✉ hukusi_midorin@yahoo.co.jp

